

目 次

	ページ
山梨県立美術館協議会資料	山梨県立美術館協議会名簿 1
	山梨県附属機関の設置に関する条例 他 2
	山梨県立美術館組織図 3
	SPSやまなし組織体制図 4
	山梨県立美術館活動報告(概要) 5
	観覧者数の推移 6
平成23年11月8日(火)	施設利用状況 7
山梨県立美術館	特別展等一覧 8
	教育普及事業及び執行状況について 9
	指定管理者活動報告 別添

山梨県立美術館協議会名簿

(任期 平成22年10月1日～平成24年9月30日)

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)	就任	経験
委嘱	曾根 敦子	山梨県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 (笛吹市教育委員)	2010/10/1	1
"	宇野 五千雄	山梨県社会教育委員連絡協議会代表	" (笛吹市社会教育委員)	2011/9/14	0
"	秋山 弘	ミュージアム甲斐・ネットワーク(美術)代表	学識経験者 (春仙美術館事務局長)	2010/10/1	1
"	鶴田 一香	山梨県文化協会連合会会長	"	2006/10/1	5
"	古屋 知子	山梨県立美術館協力会会長	"	2010/10/1	1
"	齊藤 武士	山梨美術協会代表	"	2008/10/1	3
"	大村 智	山梨県総合理工学研究機構名誉顧問	"	2004/10/1	7
"	野口 英一	報道関係(山梨放送・山梨日日新聞社社長)	"	2000/10/1	11
"	金丸 康信	" (テレビ山梨代表取締役社長)	"	2000/10/1	11
"	鈴木 郁子	" (NHK甲府放送局局長)	"	2009/7/9	2
"	植松 増美	アサヒビール(株)名誉顧問	"	2004/10/1	7
"	渡辺 文子	主婦	家庭教育関係 (公募)	2010/10/1	1
"	島津 久美子	主婦	" (公募)	2010/10/1	1
任命	岡田 恭子	山梨県公立小中学校長会代表	学校教育関係 (甲府市立貢川小学校校長)	2010/10/1	1
"	原 まゆみ	山梨県高等学校長協会代表	" (県立わかば支援学校校長)	2010/10/1	1

○ 山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事（教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。）が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

（会長等）

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1（第2条、第4条関係）

2 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	定数	委員の要件	任期
山梨県立美術館協議会	博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	15人以内	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者	2年
山梨県文学館協議会	博物館法第二十条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務			

○ 山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠の委員の任期）

第2条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長を置く。

（庶務）

第12条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

（委任）

第13条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○ 博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第20条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

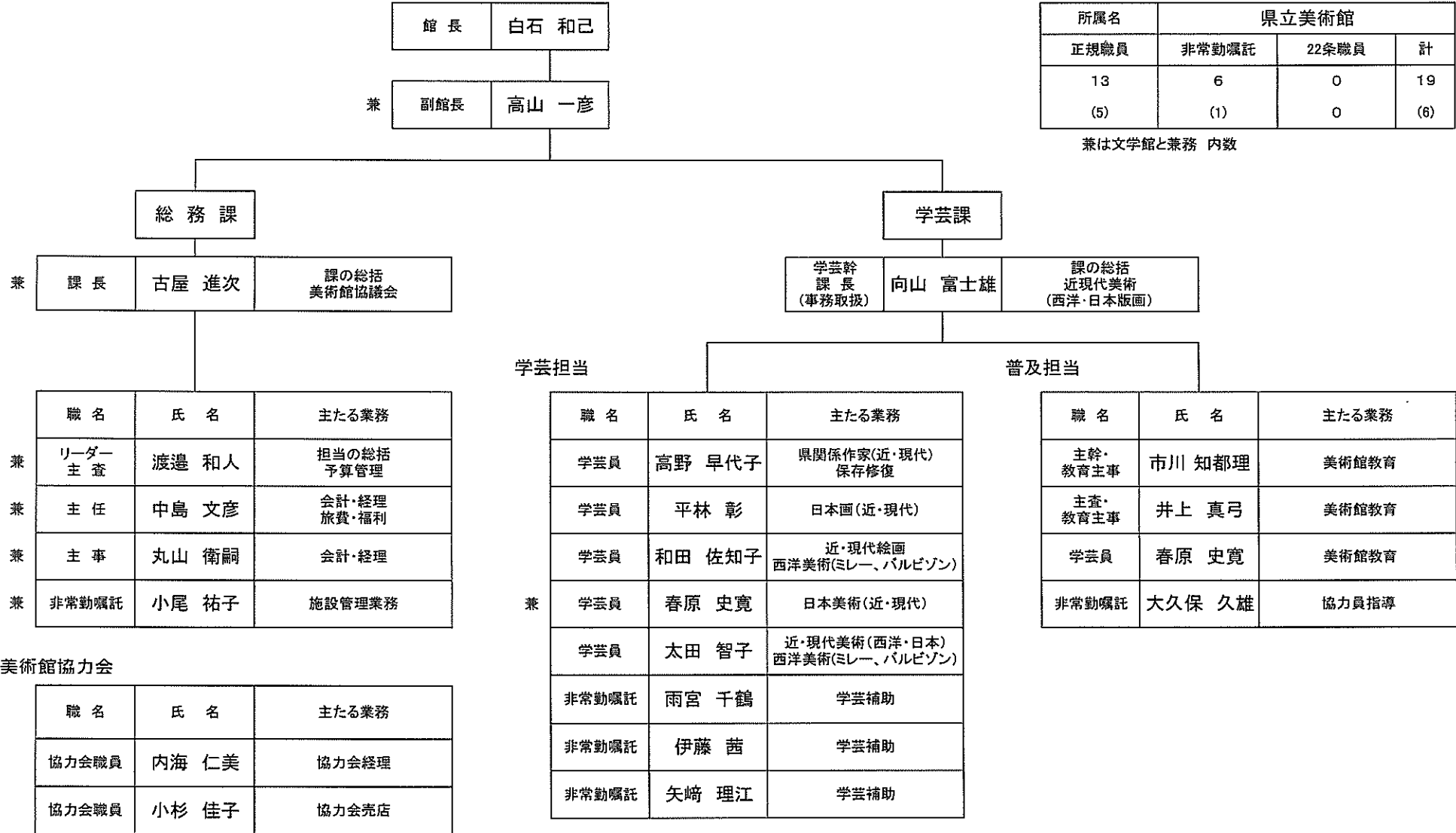
第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第22条 博物館協議会の設置、その委員の定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

美術館組織図

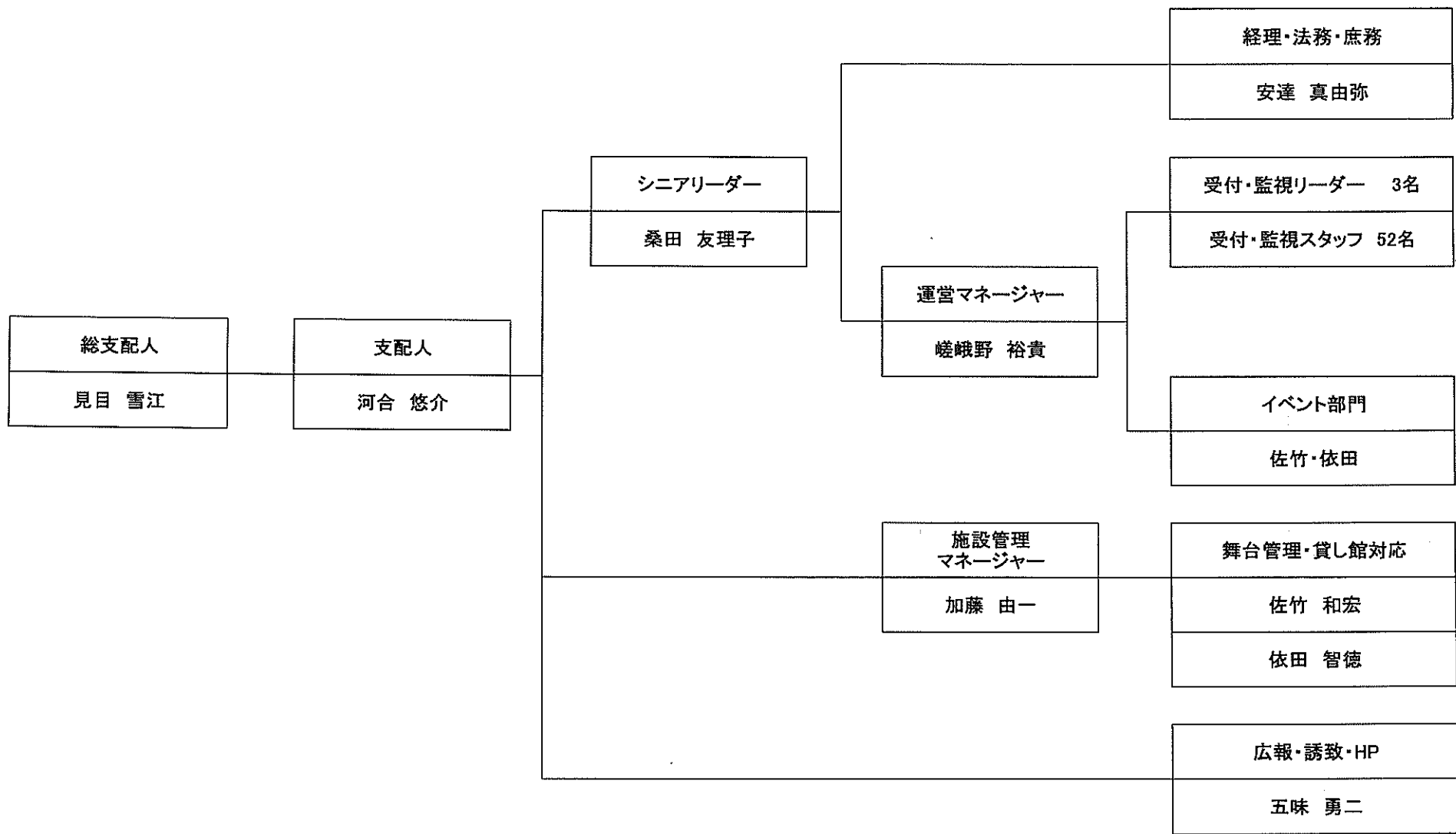
所属名	県立美術館		
正規職員	非常勤嘱託	22条職員	計
13 (5)	6 (1)	0 0	19 (6)

兼は文学館と兼務 内数



※ 副館長及び総務課員は、文学館と兼務

指定管理者組織図(SPSやまなし)



スタッフ

9

+

受付・監視

55

= 64 名

山梨県立美術館活動報告(概要)

本館に求められるもの

県民の価値観の多様化・余暇活動への関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求めて、文化活動に対するニーズも一段と幅広いものとなってきている。

このようななか、美術に関する知識・教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与することを目的として設置されている山梨県立美術館には、

【展示/見る】幅広いジャンルでの質の高い特別展示とともに「西洋美術」「山梨ゆかりの美術」「日本の近現代美術」などの常設展示の一層の充実

【教育普及/学ぶ】生涯学習の進展や教育課程における総合学習の実施にともなって、より多様な学習機会の提供。そして、一層の本県芸術の振興、芸術活動の場の提供

【付加価値・魅力/憩う】本来の美術館機能に加え、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供

が求められている。

◎3月11日の東日本大震災の影響により、館運営の中にも様々な問題を抱えることとなったが、復興を大きなエネルギーに変え、新たな取り組みにより臨機応変な事業展開を行った。

◎平成21年度からは「施設・設備管理」、「受付・監視」、「広報宣伝」の各業務を中心に指定管理制度が導入された。

・美術館とSPSやまなしなどで緊密な連絡体制を構築し、震災の影響を少しでも和らげるための努力と前向き事業展開を互いの長所を生かす形で行ってきた。

・SPSやまなしのノウハウを活用した美術館サービスの向上、積極的な広報宣伝活動を実施してきた。

平成23年度上期の活動状況

平成23年度下期の活動予定

【展示/見る】

〈常設展〉

◎開館以来、ジャン＝フランソワ・ミレーとバルビゾン派の作品を集中的に収集し、現在では、国内外より高い評価を受けている。これを魅力として集客に努めている。・ミレー館(常設展示Ⅰ)

◎「ミレー館」の開設以降、集客を維持するための魅力を改めて県外にPRするための積極的な広報活動の実施(JR東日本・JR東海・山梨交通・甲府市観光協会・甲斐市観光課などとの連携)

◎観光巡回バスの運行 甲斐市との観光連携

◎大手旅行会社との連携による旅行ツアーにより顧客確保の増進に努めた。

〈特別展〉23年度上期は以下の展覧会を実施。

○モーリス・ドニ展 4月16日～6月12日 (震災の影響により順延)

○代替え展として急速「芸術のウラ」展開催 自主企画

○ムーミンと仲間たち展 7月9日～8月26日 (一時期震災の影響により中止勧告を受ける)

【教育普及/学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進

ワークショップ指導ボランティアを導入し、より充実した活動へとスキルアップ。

県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや高齢者身体障害者への実技講座やレクチャーなどの実施。

学校教育と対応して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深めた。

美術館から職員が外に出て、様々な会場でのワークショップや授業などを実施

〈活動内容〉

- ・キッズプログラム(小中高生対応) ・オリエンテーション ・職場体験授業
- ・学校への出張授業 ・アートボックス貸出 ・施設の貸出 ・造形広場・創作教室
- ・新みなびの実施 ・教師のための鑑賞研究会 ・シルバーアートレクチャー
- ・体験講座(初心者・障害者) ・実技講座 ・県民ギャラリー利用者の創作活動PR支援

【付加価値・魅力/憩う】〈魅力あふれる美術館をめざして〉

〈質の高いサービス提供〉

・美術館ボランティアのスキルアップをめざして研修・学習会を実施
22年度末に、新たに協力会ボランティアを募集。現在137名になり、新体制でサービス向上を目指している

・地元音楽家・団体や学校現場との協働によるロビーコンサートを毎週日曜日に開催
(ゴールデンウィーク期間中は毎日開催) (SPS)

・レストランサービスの向上をめざして運営企業と情報交換・協議

・ミュージアム甲斐イン券並びに定期観覧券所持者への割引サービス (SPS)

・首都圏からの来館者増を目的に、中央紙への広告の掲載 (SPS)

・芸術文化のまちづくりでNPOを支援。＝貢川アートフェスタ後援

〈県民との円滑なリレーションシップ〉

・本美術館の特色・魅力を十分に伝えられる情報発信・積極的な広報とパブリシティの実施

・展覧会事業を報道機関と共催、県民への情報提供の機会を大幅に増やすことができた

【展示/見る】多様な来館者ニーズに応え、幅広いジャンルの特別展や魅力ある常設展を開催する。

〈常設展〉作品の保存を考慮したうえで、なるべく幅広い作品を随時展示する。

・常設展示室(ミレー館・常設展示Ⅱ)の年4回の展示替えの実施。

日本画については季節に合わせた作品を展示する。

・学芸員それぞれの個性を生かしてテーマやコーナーを設け、特別展のようなタイトルを付け、興味を持って鑑賞してもらえるよう工夫や配慮をする。

・萩原記念室の模様替(萩原英雄の人となりや生涯に描いた作品を主体に展示)

(特別展) ・川端康成と東山魁夷コレクション展 9月17日～11月6日

・浅川伯教と巧兄弟の眼と心展 11月19日～12月25日

・モーリス・ドニ展 1月10日～3月4日

・新収蔵品展 3月24日～4月15日

◎「ミレー館」の魅力を中心に打ち出した集客活動の継続。「ミレーの美術館」を新たな客層を発掘しながら県外に広くPRするための積極的な広報活動の計画の策定と実施

・常設展の新たな広報戦略 (SPS、チラシの作成)

【教育普及/学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進する。

・ワークショップ指導ボランティアを導入し、より充実した活動へスキルアップする。

・県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや身体障害者への実技講座のなども実施していく。

・教育現場と連携して、年齢ごとの学びの場として会場を提供し、キャリア教室等にも活かしていく。

・学校教育と対応して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。

〈活動内容〉

◎「博学連携を中心とした学校・社会教育施設との連携強化」

・キッズプログラム(小中生対応) ・オリエンテーション ・映画会 ・職場体験授業

・学校への出張授業 ・アートボックス貸出 ・施設の貸出 ・創作教室・造形広場

・新みなびの実施 ・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座

・体験講座(初心者・障害者) ・実技講座 ・県民ギャラリー利用者の創作活動PR支援

◎「地域との連携強化」

・甲府市並びに甲斐市との連携の強化(あらたな連携活動計画の策定)

・美術館周辺校との連携(新田小学校の総合的な学習の時間を利用したギャラリートークの実践)

【付加価値・魅力/憩う】美術館への好感度向上をめざして、さまざまな取組を実践

☆ 質の高いサービスを提供するため、研修の強化などを行い、引き続き美術館ボランティア(案内、解説、情報 etc.)のスキルアップに務める。

☆ 様々な付加価値の創造に継続して取り組む。

・地元音楽家・団体、学校のコーラス部との協働による週末のロビーコンサートや小イベントを継続して実施。(SPS)

・ミュージアムショップでの楽しい買い物に向けて、魅力ある新商品の開発等を実施。

☆ 県民との円滑なリレーションシップを目指して、本美術館の特色・魅力をしっかりと情報発信。

・やまなしのネットワーク、ノウハウを最大限活用した積極的な広報とパブリシティの実施。

・展覧会事業を報道機関とタイアップすることにより、情報提供機会を増やす。

□□□□□□ これらの取組を着実に進めて、より多くの県民の来館に結びつける

山梨県立美術館 常設展・特別展観覧者の推移

年度	開館日数	常設展	特別展	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,083	174,333
22	310	98,986	61,123	160,109
23	157	52,497	47,760	100,257
計	9,795	8,941,673	3,207,072	12,148,745

月別集計数(平成22年度)

常設展

月	開館日数	観覧者数
4	27	8,465
5	26	11,532
6	26	8,677
7	28	7,331
8	27	11,210
9	26	8,036
計	160	55,251

特別展

展覧会名	開催日数	観覧者数
ビクトリアン	51	19,024
池田龍雄	27	3,448
くじら	31	10,495
ティオリエ	31	3,174
合計		36,141

月別集計数(平成23年度)

常設展

月	開館日数	観覧者数
4	26	4,670
5	26	8,618
6	26	7,659
7	26	8,520
8	27	14,850
9	26	8,180
計	157	52,497

特別展

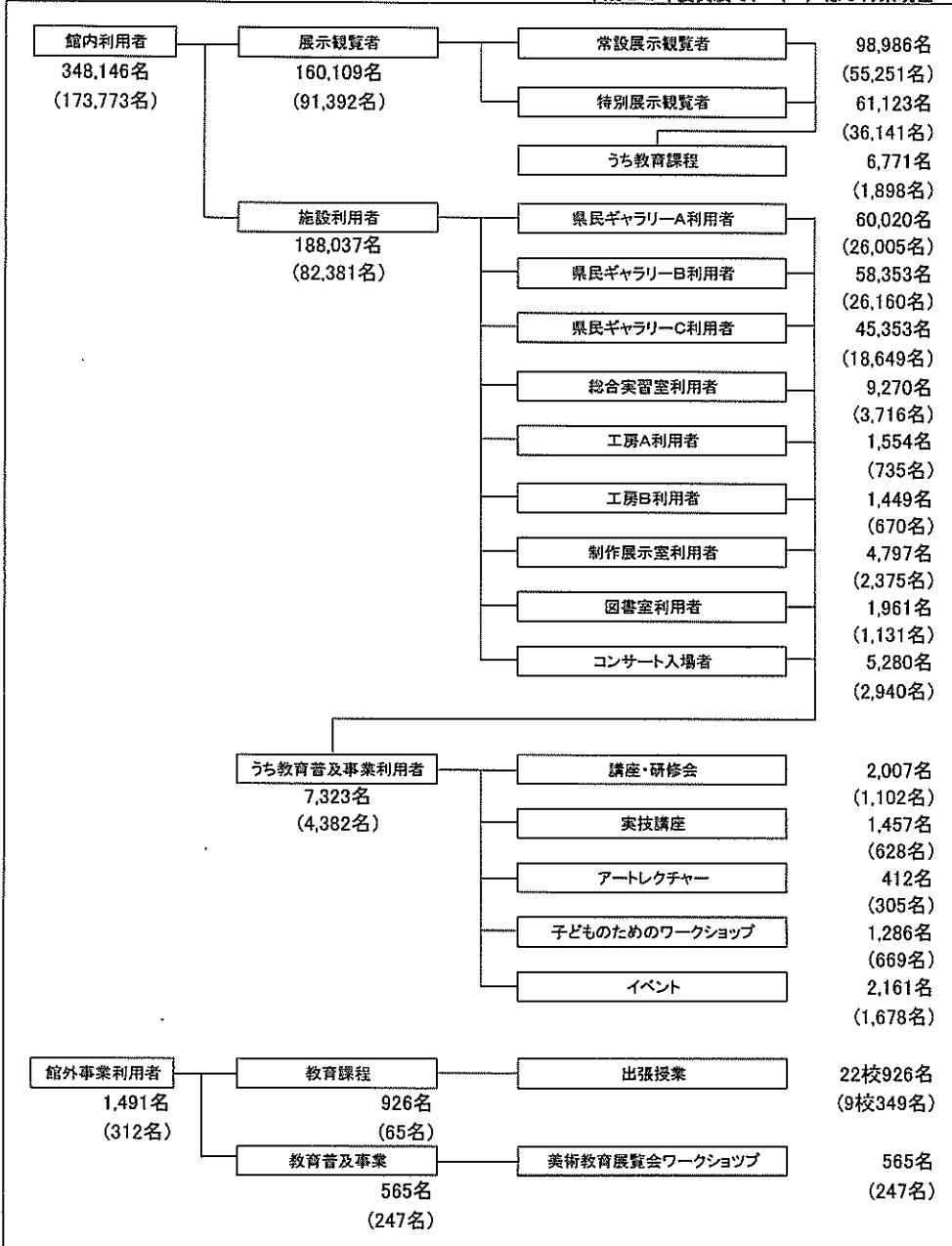
展覧会名	開催日数	観覧者数
新収蔵品展	33	6,558
ゲーシュツのウラ	19	9,750
ムーミン	45	26,972
川端端	12	4,480
合計		47,760

9月末日まで

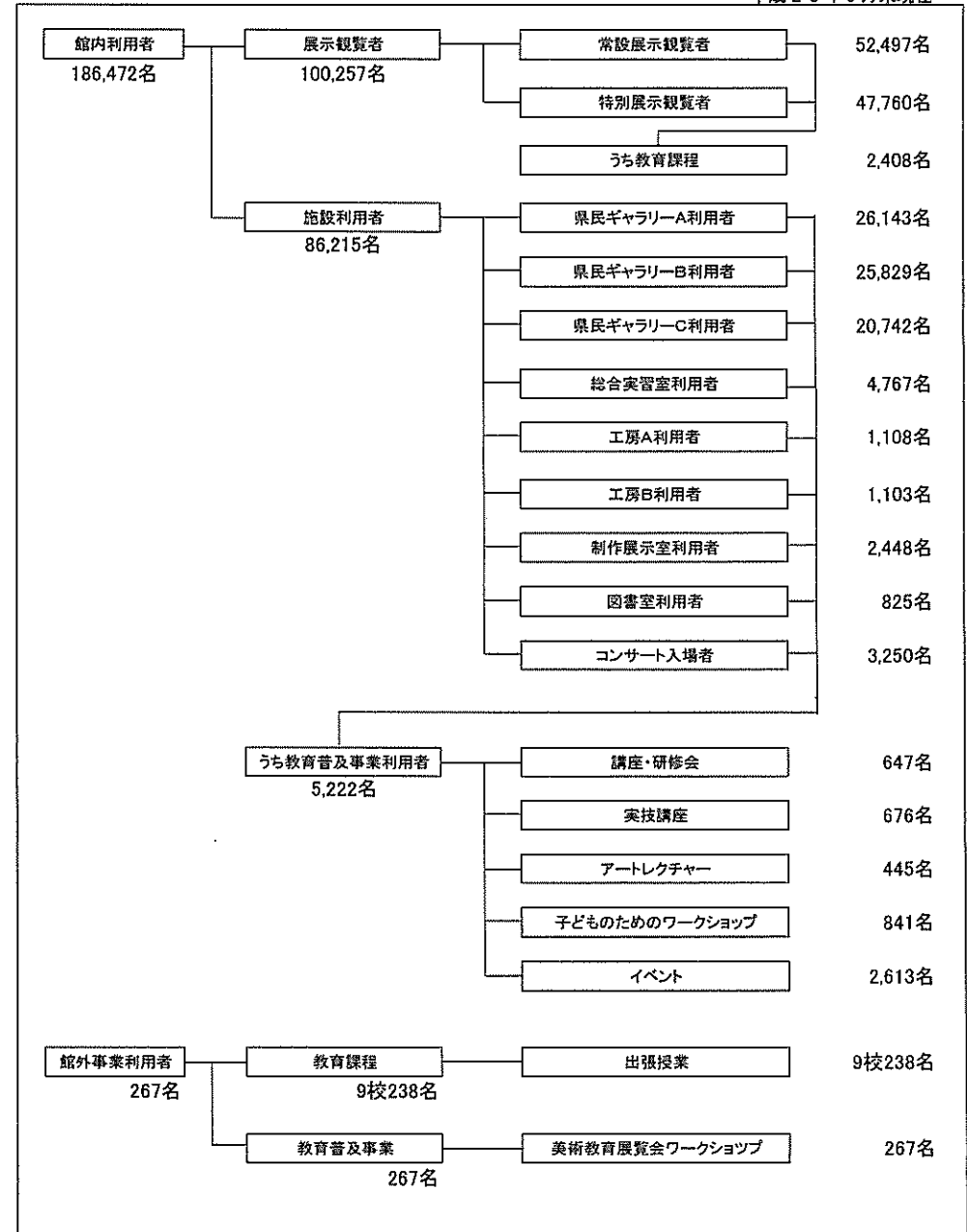
美術館「利用者」の状況

○美術館の利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

平成22年度実績で、()は9月末現在



平成23年9月末現在



平成23年度 特別展一覧

特別展名	期 間	概 要	観覧者数
特集展示 ゲージュツのウラ	5月10日(火) ～ 6月26日(日)	震災の影響により中止されたモーリス・ドニ展に代わり急遽開催しました。展示された「芸術作品」を正面から「鑑賞」するだけではなく、学芸員だからこそ知っている、隠された「ウラ」事情を紹介しました。	19,500人
ムーミンと仲間たち —作家トーベ・ヤンソンからのおくりもの—	7月9日(土) ～ 8月28日(日)	ムーミン・シリーズや雑誌の挿絵、ムーミン・コミックなど約120点の作品を版画を中心に紹介して、ムーミンの生みの親、トーベ・ヤンソンの全貌に迫った展覧会です。フィンランドのタンペレ市立美術館の全面協力により実現しました。	26,972人
川端康成コレクションと東山魁夷	9月17日(土) ～ 11月6日(日)	日本人初のノーベル文学賞受賞者の川端康成は、美術に深い造詣を持ち、コレクターとしても知られています。本展は、川端と日本画家、東山魁夷の交流を核に、両家のコレクションと東山の作品を紹介しました。	—
浅川伯教・巧兄弟の心と眼	11月19日(土) ～ 12月25日(日)	朝鮮陶磁器・工芸の研究と、その美を日本に伝えることに尽力した山梨県出身の浅川伯教(のりたか)と巧(たくみ)兄弟の功績と生涯を紹介します。伯教制作の陶磁器・絵画、朝鮮時代の陶磁器と家具などの工芸、巧の日記などの資料を展示します。	—
モーリス・ドニ —いのちの輝き、子どものいる風景	平成24年1月10日(火) ～ 3月4日(日)	震災の影響により中止いたしましたが、会期を変更して開催する事となりました。19世紀フランス、ナビ派を代表する画家で、日本でも人気の高いモーリス・ドニ。その優雅な絵画世界を、子どもや家族というテーマから紹介する展覧会です。世界初公開となる作品も多数展示されます。	—
山梨県立美術館新収蔵品展	3月10日(月) ～ 4月8日(日)	平成23年度に新たに収蔵した資料を中心に公開します。	—

平成22年度

教育課程による入館者状況

※平成23年3月末日現在

(1)小学校

地区	校数	人数
甲府	24	1,166
中巨	3	219
東山	2	76
笛吹	0	0
南巨	0	0
西八	0	0
北巨	7	424
南都	0	0
北都	1	12
法人	3	97
私立	1	74
県外	0	0
計	41	2,068

(2)中学校

地区	校数	人数
甲府	9	209
中巨	10	189
東山	0	0
笛吹	1	41
南巨	10	134
西八	0	0
北巨	10	853
南都	2	28
北都	4	63
法人	0	0
私立	1	123
県外	0	0
計	47	1,640

(3)高等学校

種別	校数	人数
県立	14	390
市立	0	0
私立	3	409
その他	0	0
県外	0	0
計	17	799

(4)特別支援教育

種別	校数	人数
県立	3	59
法人	0	0
県外	0	0
計	3	59

(5)その他

	団体数	人数
	15	2,205

その他とは、

美術連盟、文化連盟等

月別入館者数

月	回数	人数
4	10	167
5	25	903
6	4	146
7	11	288
8	11	60
9	2	334
10	6	171
11	32	2,185
12	5	320
1	6	1,340
2	7	721
3	4	136
計	123	6,771

平成23年度

教育課程による入館者状況

※平成23年9月末日現在

(1) 小学校

地区	校数	人数
甲府	14	763
中巨	0	0
東山	0	0
笛吹	0	0
南巨	0	0
西八	1	9
北巨	1	21
南都	0	0
北都	0	0
法人	0	0
私立	2	87
県外	0	0
計	18	880

(2) 中学校

地区	校数	人数
甲府	28	272
中巨	18	283
東山	0	0
笛吹	3	76
南巨	7	49
西八	0	0
北巨	3	27
南都	5	72
北都	5	117
法人	4	27
私立	1	1
県外	0	0
計	74	924

(3) 高等学校

種別	校数	人数
県立	12	42
市立	1	294
私立	2	160
その他	0	0
県外	0	0
計	15	496

(4) 特別支援教育

種別	校数	人数
県立	2	46
法人	0	0
県外	0	0
計	2	46

(5) その他

	団体数	人数
計	5	62

その他とは、

美術連盟、文化連盟等

月別入館者数

月	回数	人数
4	8	130
5	31	890
6	9	206
7	27	699
8	36	285
9	3	198
10	0	0
11	0	0
12	0	0
1	0	0
2	0	0
3	0	0
計	114	2,408

・震災の影響で県外の利用者が少ない、9月の台風で高校が取りやめ



2011 とびだせ美術館! アートの種まきワークショップ

「とびだせ美術館!」は、美術館をとびだしてあなたのまちにでかけます。
新しく出会った仲間と、いろいろ描いたりつくったり…。ここに「アートの種」をまきましょう。
みんなで一緒に作品をつくり、できた作品は県立美術館で開催する
「みなび(みんなで作る美術館)展」に展示します。

県内各地で12回開催します。詳細は裏面にあります。

- 主催 山梨県立美術館/とびだせ美術館実行委員会
- 後援 山梨県立美術館/山梨県高等学校文化運動美術工芸専門部/山梨県高等学校美術工芸科研究会/山梨県社会福祉協議会/NHK甲府放送局/山梨日日新聞社・山梨放送/テレビ山梨/テレビ朝日甲府支局/朝日新聞甲府総局/産経新聞社甲府支局/毎日新聞甲府支局/読売新聞甲府支局/山梨新報社/日本ネットワークサービス/エフエム富士/エフエム甲府
- 協力 アオヤギフォトスタジオ/ティスプレイ遊園/日本通運株式会社 山梨支店/わからず福商兵衛/面村シンプク/ベギン堂/みくに面村店/機山堂/菅葉堂/甲府稲穂/NPO法人虹の谷/NPO法人芸術文化振興センター/人なつこ・アートワーク/山梨学院短期大学/山梨県立大学国際政策学部総合政策学科/山梨大学教育人間科学部美術教育講座・芸術運営コース/都留文科大学/大月イーゼルアクション/甲府市立真川小学校/貫川地区社会福祉協議会/中富総合会館/北杜市立日野春小学校/富士河口湖町立大石小学校/大月市立猿橋小学校/SFSやまなし/島田プロセス/ボランティアの皆さん

ワークショップ 作品展

2010年10月から今年7月までの「とびだせ美術館!」でつくられた作品を展示します。

会期 ▶ 8月3日(水)～14日(日) 休館日8月8日(月)
時間 ▶ 午前9:00～午後5:00 最終日は午後3:00まで
会場 ▶ 県立美術館・県民ギャラリーC 他
※ミニワークショップを会期中毎日開催します。

とびだせ美術館!スタッフ募集

いっしょに「とびだせ美術館!アートの種まきワークショップ」/「みなび展」を楽しみませんか?
各地でのワークショップや作品展のお手伝いなど、ボランティア・スタッフとして運営や活動に参加していただくことによって、このイベントをより豊かなものにし、かわっていただいた方々の交流を深めたいと考えています。詳細は実行委員会事務局までお問い合わせください。

とびだせ美術館! アートの種まきワークショップ

★参加費は1人(1グループ)につき50円です(通信費として使用します)。
★開始時間までに会場に来てください。
★各回定員は先着150名程度です。
★各会場とも駐車場が限られています。お車は乗り合わせお越しください。
★参加者には「アートくん」缶バッジをプレゼント!

申込不要

- ① 6月23日(木)
「モノタイプ版画で遊ぼう」
山梨県立美術館障がい者のための講座と
いっしょです。
①午前10:00～11:30
②午後1:30～3:00
県立美術館ワークショップ室
- ③ 7月24日(日)
午後1:30～3:30
「たくさん山をかこう!」
講師:櫻井孝美氏(作家)
日野春小学校(北杜市長坂町)
富士山、南アルプス、八ヶ岳、
あなたの心の山、どんな山でも
たくさんかこう。
- ⑤ 7月30日(土)
午後1:00～
さんせんそうもくろしゅうじゅうりゅうぎょ
「山川草木鳥獣虫魚」
講師:長田義巳氏(作家)
県立美術館 芸術の森公園
筆文字で自然を楽しもう!!
書道用具がある人は持ってきてね。
- ⑦ 10月15日(土)
午後1:30～3:30
「大空、青空、星空・・・空」
講師:県立美術館職員
中富総合会館(身延町)
いろんな空があるね。
好きな空は?
- ⑨ 12月23日(金・祝)
午後1:30～3:30
「たのしいクリスマス」
講師:若松宏実氏(山梨大学医学部学生)
県立美術館 総合実習室
笑いヨガであそぼう!
笑ったらとまらない。

このワークショップは大人も子どもも、障がいのある方もどなたでも参加できる創作活動や身体表現です。
できた作品やワークショップの様子(ビデオ)・写真 は、「みなび展」県立美術館県民ギャラリーに展示します。

昨年の10月から「山」というテーマに取り組んでいます。・・・そして今年の後半からは「空」へ・・・と、
私たちのまわりの自然や環境に目を向けていきます。
みなび展・みんなで作る美術館

☆2011年「みなび展」8月3日(水)～14日(日)
午前9:00～午後5:00 最終日は午後3:00まで
県立美術館 県民ギャラリーC、他 休館日8月8日(月)
昨年の10月以降の【アートの種まきワークショップ】の作品
とワークショップの様子(ビデオ)、今年の①～⑤の作品やビ
デオを展示、上映します。⑥～は来年度の展示になります。

- ② 6月25日(土)
午後1:30～3:30
「山をかこう!」
講師:櫻井孝美氏(作家)
県立美術館 ワークショップ室
大きな山(作家・本杉琉氏制作)にペイ
ント。山の中、地球の中まで考えよう!
- ④ 7月27日(水)
午後1:30～3:30
「おおきな山をかこう!」
講師:櫻井孝美氏(作家)
大石小学校(富士河口湖町)
おもいっきり、楽しく山をかこう!
目の前には日本一の山、富士山。
- ⑥ 8月7日(日)
午後1:00～
「ごっこごっこ」
講師:深澤さやか氏(俳優)
県立美術館 総合実習室
みんなで1つの
劇ごっこを楽しもう!
- ⑧ 11月23日(水・祝)
午後1:30～3:30
「風をみよう、風になろう」
講師:佐藤政道氏(猿橋小学校教諭)
猿橋小学校(大月市)
風を感じて
風と遊ぼう!
- 2012年
⑩ 2月11日(土)
午後1:30～3:30
「空をつくろう」
講師:伊藤美輝氏(山梨学院短期大学保健科教授)
街の駅やまなし(山梨市)
空にあるものは?宇宙にあるものは?
あなたの空には何がある?

★ワークショップの内容は変更になる場合があります。
☆展示した作品は8月14日午後3:00～5:00に展示場所で返却します。取りに来られない方は、後日美術館へお越しください。作品は9月中旬まで保管しています。



山梨県立美術館
Yamanashi Prefectural Museum of Art

とびだせ美術館実行委員会事務局 〒400-0065 甲府市真川4-27 山梨県立美術館 学芸課内 Tel.055-228-3258 Fax.055-228-3418 http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/



アートくん

平成23年度

山梨県立美術館

キッズ・プログラム

特別展を中心とした子ども向けのイベントです。(参加無料)

プログラム名	開催日時	内 容	対 象	申し込み期間
あつまれ! びじゅつ探検隊1	5月14日(土) 午前10:00~11:30	ゲージュツのウラ 特集展示	小学4~6年生 *保護者参加可	4月30日 ~5月7日
親子の アートレクチャー1	6月11日(土) 午前10:00~11:30	普段は目にしない作品の「うら」。 作品の裏側や制作のうら話、はたまた また技法のウラワザもあります。	小学1~3年生 とその保護者	5月28日 ~6月4日
新企画 ぶらっとアート1	6月4日(土) 午前10:00~11:30 午後1:30~3:00	いつもと違った目で作品をたのし めます。	小学生と その家族	6月3日 午後5:00まで
ぶらっとアート2 ムーミン谷に 集合!	7月17日(日) 午前10:00~11:30 午後2:00~3:30	ムーミンと仲間たち —作家トーベ・ヤンソン からのおくりもの— トーベ・ヤンソンの描いた「ムー ミン」シリーズの不思議な世界を 家族みんなで楽しみましょう。	小学生と その家族	7月16日 午後5:00まで

とびだせ美術館! アートの種まきワークショップ 申し込み不要
「とびだせ美術館!」はアートの種をもってみんなのまちにでかけます。新しく出会った仲間と、いろいろ描いたり、つくったり、アートを楽しみましょう。完成した作品は夏に美術館に展示します。

「ワークショップ」6/23~2/18の間(午後1:30~3:30)

県内各地

「みなび作品展」8/2~8/14(県民ギャラリーC室)

ワークショップは子どもから大人まで誰でも参加できます。通信費が50円必要です。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| ○ 6月23日(木) 山梨県立美術館 | ○ 6月25日(土) 山梨県立美術館 |
| ○ 7月24日(日) 北社市日野春小学校 | ○ 7月27日(水) 富士河口湖町立大石小学校 |
| ○ 7月30日(土) 山梨県立美術館(午後1:00~) | ○ 8月7日(日) 山梨県立美術館(午後1:00~) |
| ○ 10月15日(土) 中富総合会館 | ○ 11月23日(水・祝) 大月市立銀橋小学校 |
| ○ 12月23日(金・祝) 山梨県立美術館 | ○ 2月11日(土) 街の駅やまなし |

*場所は開催予定です。場所の変更もあります。合わせてボランティアスタッフも随時募集しております。

*参加者多数の場合、安全上参加を制限する場合があります。(定員100名程度)

夏休み 美術館探検	7月23日(土) 午前10:30~12:00	要望にお応えして、美術館のなぞを めぐる探検です。保護者の方と一緒に ふだん見ることのできない美術 館の裏側をのぞきます。	小学1~3年生 とその保護者 (20組程度)	7月9日 ~16日
夏休み ワークショップ 半日コース	8月1日(月) 〔美術館の休館日〕 午前10:30~12:00	お休みの日の美術館。いつもと違う ところを探検! ちょっとびっくり の子どもだけのワークショップ。	小学4~6年生 (20名程度)	7月18日 ~25日

夏休み ワークショップ	8月1日(月) 〔美術館の休館日〕 午前10:30~ 午後3:30	ふだんは入ることのできない収蔵 庫や機械室など美術館の裏側を探 検しませんか。午前中は半日コース と一緒に見学します。午後から 学芸員の仕事を体験します!	中学生 (20名程度)	7月18日 ~25日
親子の アートレクチャー2	10月1日(土) 午前10:00~11:30	川端康成コレクション と 東山魁夷 川端康成と日本画家東山魁夷の交 流を核に両家のコレクションと東 山の作品を紹介します。ご家族で楽 しむことができます。	小学1~3年生 とその保護者	9月17日 ~24日
あつまれ! びじゅつ探検隊2	10月8日(土) 午前10:00~11:30		小学4~6年生 *保護者参加可	9月24日 ~10月1日
親子で美術館を 楽しむ会	11月3日(木・祝) 午前10:00~11:30 午後2:00~3:30	11月3日は県立美術館のたん じょう日! 美術館でゆったりす ごしてみませんか? ミレー作品の世界を旅します。	小学生と その保護者 (各回30名程 度)	10月22日 ~29日
ぶらっとアート3 山梨のすごい人!	12月3日(土) 午前10:00~11:30 午後2:00~3:30	浅川伯教・巧兄弟の心と眼 朝鮮時代の美 伯教制作の陶磁器・絵画や朝鮮時代 の陶磁器と家具などの工芸品を親 ながら山梨県出身のすごい人、浅川 兄弟の生涯を学びましょう。	小学生と その家族	12月2日 午後5:00まで
親子の アートレクチャー3	1月28日(土) 午前10:00~11:30	ミレー館・常設Ⅱ 県立美術館の作品を知らう! おなじみ、ミレー作品や美術館所蔵	小学1~3年生 とその保護者	1月14日 ~21日
あつまれ! びじゅつ探検隊3	2月4日(土) 午前10:00~11:30	作品を楽しみましょう。見方を変え ると作品も変わって見えるのが不 思議!	小学4~6年生 *保護者参加可	1月21日 ~28日

特別展を中心とした子ども向けのイベントです。

(参加無料)親子で美術館を楽しむ会は材料費500円程度・常設展が無料で観覧できます。)

*子どもクラブなどの団体で申し込む場合には、別の日程で実施することもありますので、事前にお問い合わせください。

*日時・内容については変更する場合があります。

申し込み方法: 電話またはFAXで、プログラム名・氏名(ふりがな)・学校名・学年・干住所・電話番号(FAXがある方はFAX番号)・参加する保護者名をお知らせください。

参加者多数の場合、時間が前後します。

(申し込まれた方の個人情報は、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。)

問い合わせ先

〒400-0065 甲府市貢川1-4-27

山梨県立美術館「キッズ・プログラム」係

Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

キッズ・プログラム

特別展を中心とした子ども向けのイベントです。

(参加無料。展覧会に合わせたミニワークショップも行います。)

プログラム名	開催日時	内 容	対 象	申し込み期間
親と子の アートレクチャー2	10月1日(土) 午前10:00~11:30	川端康成コレクション と東山魁夷 川端康成と日本画家東山魁夷の交流 を核に両家のコレクションと東山の 作品を紹介します。ご家族で楽しむ ことができます。	小学1~3年生 とその保護者	9月17日 ~24日
あつまれ! びじゅつ探検隊2	10月8日(土) 午前10:00~11:30		小学4~6年生 *保護者参加可	9月24日 ~10月1日
親子で美術館を 楽しむ会	11月3日(木・祝) 午前10:00~11:30 午後2:00~3:30	11月3日は県立美術館の誕生日。見 学と体験で楽しくミレーを学びまし ょう。今年は「種をまく人」を大研 究!君もミレー博士に一步近づく よ。(参加費:1家族500円)	小学生と その保護者 (各回30名程 度)	10月21日 ~28日
ぶらっとアート3 山梨のすごい人!	12月3日(土) 午前10:00~11:30 午後2:00~3:30	浅川伯教・巧兄弟の心と眼 —朝鮮時代の美— 伯教制作の陶磁器・絵画や朝鮮時代 の陶磁器と家具などの工芸品を親な がら山梨県出身のすごい人、浅川兄 弟の生涯を楽しく学びましょう。	小学生と その家族	12月2日 午後5:00まで
ぶらっとアート4	1月14日(土) 午前10:00~11:30 午後2:00~3:30	モーリス・ドニ いのちの輝き、子どものいる風景 ナビ派を代表する画家で、日本でも 人気の高いモーリス・ドニの優雅で 神秘的な芸術世界を、子どもや家族 というテーマから紹介する展覧会で す。家族みんなで楽しめます。イク メンババ大歓迎!!	小学生と その家族	1月13日 午後5:00まで
親と子の アートレクチャー3	1月28日(土) 午前10:00~11:30		小学1~3年生 とその保護者	1月7日 ~21日
あつまれ! びじゅつ探検隊3	2月4日(土) 午前10:00~11:30		小学4~6年生 *保護者参加可	1月21日 ~28日

(親子で美術館を楽しむ会は1家族500円の参加費が必要・常設展が無料で観覧できます。)

* 子どもクラブなどの団体で申し込む場合には、別の日程で実施することもありますので、事前にお問い合わせください。

* 日時・内容については変更する場合があります。

申し込み方法 : 電話またはFAXで、プログラム名・氏名(ふりがな)・学校名・学年・〒住所・

電話番号(FAXがある方はFAX番号)・参加する保護者名をお知らせください。

~ 申し込み先 ~

(別紙2)

平成23年度

山梨県立美術館

教師のための鑑賞研究会

(予定)

	展覧会名 (会期)	鑑賞研究会開催日時
1	特集展示「ゲージュツのウラ」 ふだん目にしない作品のうら！制作の裏話等、作品の「ウラ」に関する特集展示です。授業のネタにいかがですか？ (5月10日～6月26日)	5月17日(火) 午後4時～
2	ムーミンと仲間たち —作家トーベ・ヤンソンからのおくりもの— ムーミン谷の仲間たちの不思議な世界。作者トーベ・ヤンソンを身近に感じてみませんか。 (7月9日～8月28日)	8月4日(木) 午前10時～
3	川端康成コレクションと東山魁夷 日本人初のノーベル文学賞受賞者の川端康成は、美術に深い造詣を持ち、コレクターとしても知られています。本展は、川端と日本画家、東山魁夷の交流を核に、両家のコレクションと東山の作品を紹介します。 (9月17日～11月6日)	9月27日(火) 午後4時～
4	浅川伯教・巧兄弟の心と眼 朝鮮時代の美 朝鮮陶磁器・工芸の研究と、その美を日本に伝えることに尽力した山梨県出身の浅川伯教と巧兄弟の功績を紹介します。 (11月19日～12月25日)	11月29日(火) 午後4時～
5	モーリス・ドニ いのちの輝き、子どものいる風 ナビ派を代表する画家で、日本でも人気の高いモーリス・ドニの優雅で神秘的な芸術世界を、子どもや家族というテーマから紹介する、日本で初めての展覧会です。 (1月10日～3月4日)	2月2日(木) 午後4時～

*参加した学校には、教材用に図録を一冊差し上げます。

*美術の先生方以外も大歓迎です。

山梨県立美術館 教育普及担当・市川 井上
Tel 055-288-3258 Fax 055-228-3418

(別紙3)

アートレクチャー及び鑑賞研究会の開催

平成23年度

山梨県立美術館

		鑑賞研究会開催日時
1	中学生(高校生)のためのアートレクチャー 学校の美術部等のために、随時特別展のアートレクチャーをします。ご希望がありましたら、ご相談下さい。	土曜日及び学校の長期休業中
2	校内研究としての鑑賞研究会 学校の研修にあわせ、鑑賞研究会を開きませんか。ご希望がありましたら、ご相談下さい。	学校の長期休業中
3	教育協議会等の研修 図工や美術の実技指導研修や鑑賞指導研修に美術館を使いませんか。	随時受け付け
4	総合的な学習の時間・校外学習・職場体験 選択の授業でも利用できます。 アートボックスをもって出前授業にいきます。 修学旅行の事前学習や版画の導入にいかがですか。	随時受け付け
5	アートボックスの貸出し 日本画・版画・テンペラ・フレスコ・パステル 油絵等本物の作家作品が入っています。 小学生用もあります。 (アクリル板での色の混色あそび・ 衣装を着てなりきり《種をまく人》)	随時受け付け (出前授業も行っております)

- * 上記の他、ご希望により長期休業中に研究会を計画することも可能です。
- * 美術科だけでなく、広く多くの先生方に活用していただきたいと願っています。
- * 気軽にご相談下さい。

山梨県立美術館 教育普及担当 市川 井上
Tel 055-288-3258 Fax 055-228-3418

平成23年度

山梨県立美術館

美術体験・実技講座

様々な美術表現を体験しながら、美術作品の鑑賞の糸口を見つけてみませんか。初めて挑戦される方のための初心者コース、障がい者のための講座、技術を深めてみたい方には実技講座を開設します。

No.	講座名/講師	内容・期間(日時)	申込期間
1	現代美術 「かたちをさぐる・自分に出会う」 作家:徳丸鏡子	キュレーターズ・アイでご紹介する作家による現代美術の講座です。粘土で立体作品を作ります。材料費3,000円 講座日:4月9日(土)・10日(日) 午前10:00~午後4:00 合評会:5月8日(日) 午後1:30~午後3:30 焼成した作品をお渡しします。	3月8日~19日
2	版画 (銅版画) 初心者コース	銅版画に触れる初心者のための講座です。ドライポイントを行います。この初心者コース受講者でNo.3の(銅版画)講座へ進まれる方はこの日にお申込みください。 講座日:5月1日(日) 午前10:00~午後3:30 *美術館職員が指導に当たります。	4月9日~15日
3	版画 (銅版画) 作家:齋藤武士	腐蝕銅版画を中心に制作します。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 期間:5月15日(日)~29日(日) 作家指導:5月15日(日)・21日(土)・22日(日)・29日(日) 午前10:00~午後4:00 *材料購入希望者は5月1日午後3:30~工房にて注文を受け付けます。	4月16日~22日
4	版画 オープン・アトリエ①	銅版画を引き続き深めたい方、版画を専門的に制作している方々へ、制作の場所を提供します。 期間:5月31日(火)~6月16日(木) *作家による指導はありませんが、指導員が初心者の相談にのります。	5月22日~29日
5	障がい者のための講座 「モ/タイフ版画」	手軽に出来る版画です。いろんな色や形を楽しみましょう。 講座日:6月23日(木)①午前10:00~11:30 ②午後1:30~3:00 *美術館職員が指導に当たります。アートのほまきワークショップの1つです。 (障がい者が対象ですが、ご希望があれば保育園、幼稚園の園児も参加できます。)	施設・園などで参加される場合のみ事前にご連絡ください。
6	版画 (リトグラフ) 初心者コース	リトグラフを理解する初心者のための講座です。この初心者コース受講者でNo.7の(リトグラフ)講座へ進まれる方はこの日にお申込みください。 講座日:8月28日(日) 午前10:00~午後3:30 *美術館職員が指導に当たります。	8月7日~13日
7	版画 (リトグラフ) 作家:遠藤竜太	リトグラフの特性を生かし版を重ねて制作します。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 期間:9月3日(土)~9月18日(日) 作家指導:9月3日(土)・10日(土)・11日(日)・18日(日) 午前10:00~午後4:00 *材料購入希望者は8月28日午後3:30~工房にて注文を受け付けます。	8月7日~13日
8	版画 オープン・アトリエ②	リトグラフを引き続き深めたい方、版画を専門的に制作している方々へ、制作の場所を提供します。 期間:9月19日(月・祝)~10月2日(日) *作家による指導はありませんが、指導員が初心者の相談にのります。	9月11日~18日
9	障がい者のための講座 「三原色で描く」	青、赤、黄で楽しい世界をつくってみましょう。 講座日:10月6日(木)①午前10:00~11:30 ②午後1:30~3:00 *美術館職員が指導に当たります。 (障がい者が対象ですが、ご希望があれば保育園、幼稚園の園児も参加できます。)	施設・園などで参加される場合のみ事前にご連絡ください。
10	絵画 (テッサン) 初心者コース	物の形・見方などを学びます。絵を学びたい人のための初心者の講座です。 講座日:10月16日(日)①午前9:30~12:30 ②午後1:30~4:30 *美術館職員が指導に当たります。	9月29日~10月5日

11	絵画 (日本画)初心者コース 作家:目黒祥元	日本画はどのような材料を使って描くのでしょうか。日本画の初歩を学びます。No.12の日本画講座も受講する方は、同一はがきで一緒にお申し込みください。 講座日:10月30日(日)・11月6日(日) 午前10:00~午後4:00	10月10日~20日
12	絵画 (日本画) 作家:目黒祥元	袴に絵縷を張り描きます。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 期間:11月6日(日)~20日(日) 11月6日(日)初心者講座で絵縷張り、下準備を行います。 作家指導:11月12日(土)・13日(日)・20日(日) 午前10:00~午後4:00 *材料購入希望者は10月30日午後4:00~工房にて注文を受け付けます。	10月10日~20日
13	裏打ち体験 表具師:新海安幸	新講座です。裏打ちする絹、半紙、和紙などの作品をご持参ください。 講座日:12月11日(日) 午前10:00~午後4:00 裏打ちする作品へ施す下準備を事前(前の週)にします。日時は申込者にご連絡します。	11月19日~24日
14	絵画 (油彩画) 初心者コース	油絵を始めて体験するための講座です。この初心者コース受講者でNo.15の(油彩画)講座へ進まれる方はこの日にお申込みください。 講座日:1月8日(日) 午前10:00~午後3:30 *美術館職員が指導に当たります。	12月19日~24日
15	絵画 (油彩画) 作家:小川川江	作家の制作に対する考えをうかがいながら、油彩技法を通して絵画を体験します。(初心者は初心者コース受講者のみ対象です。) 期間:1月22日(日)~12日(日) 作家指導:1月22日(日)・29日(日)・2月5日(日)・12日(日) 午前10:00~午後4:00	1月2~8日
16	オープン・アトリエ (版画以外)	油彩、水彩、日本画、テッサン、彫刻など、自由に制作できる場所を提供します。 期間:2月14日(火)~3月11日(日) *作家による指導はありません	2月5日~12日

注意事項

- ★中学生以上対象。定員は約20名。初めて講座を受けられる方が優先です。初めての方が、多数の場合は、申込期間内に受け付けたかたから抽選させていただきます。
- ★障がい者のための講座受講希望者は申込みの必要はありません。特別に配慮の必要な障害の方や、施設・園など団体で参加される場合のみ事前にご連絡をください。
- ★全くの初心者、ちょっと経験してみたいという方は、初心者コースをご利用ください。
- ★作家指導日に欠席がわかっている方は申込みをご遠慮ください。また、遅刻無しが前提です。
- ★基本的に講座期間中は休館日を除いて、毎日午前9:30から午後4:30まで自主制作することが出来ます。
- ★受講料は無料です。ただし、必要な用具・材料は通知(返信はがき)をご覧になり、各自ご用意ください。
- ★版画オープンアトリエをご利用の方は、インク、薬品等の共用品代が必要になります。
- ★講座終了日には大掃除がありますのでご協力ください。

申し込み方法

往復はがきでお申込みください。
往信面に ①講座名 ②〒・住所 ③氏名・年齢(学生の場合は学校名・学年) ④電話番号(FAX番号も) ⑤経験の有無を記入してください。
返信面には申込者の〒・住所・氏名を必ず記入してください。

※申し込まれた方の個人情報、は本事業のみを目的とし、当館で適切に管理します。

申し込み先

山梨県立美術館 「美術体験・実技講座」係
〒400-0065 甲府市貫川1-4-27
Tel. 055-228-3322(代表) Fax 055-228-3418(学芸課直通)

美術館の仕事 学芸員・教育主事の場合

●学芸員 (curator) ○教育主事 (educator)

学芸員は、博物館法に定められた、博物館施設で働く(美術館や科学館などの諸施設を含む)専門職をさすが、日本の国立の博物館施設では研究官となり、また、欧米の学芸員と比較した場合もその歴史や内容においては大きな隔りがある。1980年代から急激に館数を増やしてきた日本の美術館であるが、その一方で多岐にわたる仕事をこなすためのスタッフの数や専門的分業が今後の課題となっている。

また、教育スタッフ(教育主事、教育系学芸員)は、展覧会の教育普及的な部分を担当し、専門的な鑑賞や造形活動に関してのプログラムを作成し、学芸員と両輪のように協働して来館者へのサービスを行うが、スタッフの数はやはり欧米の専門職とは比較にならない程少ない。

学芸員、教育主事の主な仕事

1, 作家調査、作品の収集・保存に関すること

館の収集方針の下、作品購入、寄贈、寄託などによりコレクションの充実を図るとともに、最良の作品の保存状態を保つ(環境調査、作品の修復など)ための日常的な作品管理と活動を行う。(日々のデータ収集 温湿度計の設置など)

2, 常設展に関すること

館のパーマネントコレクションを順次紹介すると共に、展示替え(年4回実施)毎にテーマを設定して、美術館の顔となる魅力的な展示を行うと共に、リピーター増を図るための工夫を行う。(展示計画作成、業者発注、展示、撤収)

3, 特別展に関すること(自主企画展と他館との協働による巡回企画展)

学芸員は、日常的に作家や時代の調査・研究を行い、その研究成果として展覧会を立案し、予算化を経て事業を実施する。

特別展は、学芸員の調査・研究の成果として単館で行う自主企画展と、複数の館が協働(調査・研究を共同で行い、作品の出品交渉、予算、カタログの編集、執筆担当などを分担して行う)により、数館を巡回する巡回特別展という形で実施する場合と大きく2つの特別展がある。

※ 学芸員による展覧会実施までの大まかな仕事の流れ

調査→研究→企画立案(目的、入館者数の予想、県民への反応)→作家並びに作品調査→展覧会構成→予算作成→出品交渉→輸送計画作成(集荷・返却予定)→展示・撤収計画作成→教育プログラムの計画・作成→展覧会印刷物の作成→広報計画→展覧会実施→作品返却→展覧会の記録→評価(専門委員会、アンケート他)

映画『道〜白磁の人〜』

浅川巧の生涯を描く日韓共同制作映画

監督:高橋伴明、原作:江宮隆之(『白磁の人』河出書房新社)、出演:吉沢悠、ペ・スビンほか

2012年初夏、全国ロードショー予定

- ・7月27日、山梨県立美術館にて制作発表記者会見。高橋伴明監督、江宮隆之氏、吉沢悠氏、ペ・スビン氏ほか来館。
- ・7月29日、クランクイン(約1ヶ月の韓国ロケ)、9月10日に山梨県北杜市にてクランクアップ。
- ・10月8日、釜山映画祭にて制作報告会見。
- ・山梨県立美術館特別展「浅川伯教・巧兄弟の心と眼」会場では、本作の告知掲示、主演者のメッセージ・色紙展示、ビデオ・コーナーでの予告編放映予定。

全国ロードショー決定!!



映画『道』

「白磁の人」

生誕120周年

浅川巧の生涯を描く

日韓共同制作で描く“100年前の友情”

1911年、植民地統治下にあった当時の韓国に渡り、朝鮮半島に於ける日本の文化を愛し、植民地時代の差別と偏見を乗り越え、浅川巧と李青萍との友情を描く映画『道〜白磁の人〜』が今夏、ついに撮影開始。日韓共同制作体制により、アサン国際映画祭をはじめ韓国上映も企画進行中です。日韓友好の架け橋となる、いま見るべき良友の物語——映画『道〜白磁の人〜』にご期待ください!



浅川巧役の祖父松本 平興叔母のペ・スビンさん



7/27に行われた制作発表の様子



韓国での撮影風景

小説「白磁の人」映画製作委員会では、本作品にご協賛いただける方を募集しています。

浅川 巧 (1891~1931)

1891年(明治24年)山梨県北杜市(旧高根町)生まれ。1914年に朝鮮半島に渡り、朝鮮半島府山根津の林業技術者として山々の採伐に貢献。1924年には美術評論家の柳南悦と朝鮮陶磁研究者の兄・伯教らと共に朝鮮民族美術館を開館し、朝鮮王朝時代の陶磁器や工芸品の保存・紹介に尽力した。現地の風土と文化を心から愛し、人々と分け隔てなく親交を結んだ巧は、1931年に僅しくも40歳の若さで死去。ソウル郊外の墓(マングリ)に葬られた善は、いまでも韓国の人々によって守り続けられている。生誕120周年となる今年、日本では全国四つの美術館で浅川兄弟展を開催。韓国では9月5日にソウル国際映画協会主催による浅川巧美術会展「時代の国境を越えた愛:浅川巧の林業と韓国民族工芸に関する研究」も開催された。

浅川 巧生誕120年記念 浅川伯教・巧兄弟の心と眼—朝鮮時代の美

山梨県立美術館 2011年11月19日(土)~12月29日(日) 山梨県立美術館 2012年1月14日(土)~2012年3月20日(火)

映画『道〜白磁の人〜』

公式サイト <http://hakujinohito.com/>

指定管理者上半期活動トピックス

【1】 展示広報①

両館常設展チラシのリニューアル

山梨から文学の世界へ〜
Time travel from
Yamanashi

山梨県立美術館

山梨県立文学館

- 視覚で施設の特徴を紹介できるツールとしてリニューアル
- 県内観光施設及び首都圏博物館施設を中心に配布

【2】 イベント①

ゴールデンウィークは芸術の森公園へ行こう！

ゴールデンウィークは 芸術の森公園へ行こう！
〜みつけよう、新しい感性を〜

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園で4月29日(金)〜5月9日(日)の土日祝日に「ゴールデンウィークは 芸術の森公園へ行こう!」〜みつけよう、新しい感性を〜と題して、観覧者の募集に加え、GWイベント期間中に親子で楽しむワークショップ、英語など多岐のイベント開催します。近郊も広げて春の芸術の森公園もぜひお楽しみ下さい。

【文学館の風見鶏記念 展覧】
展期日 4月29日(金)〜5月1日(日)
時間 10:00〜15:00 ※お茶菓子づくり体験は終了
観覧 無料 ※観覧の森公園内
観覧 150名
※説明 1回あり

【ロビーコンサート 〜音楽で遊ぼう〜】
展期日 4月29日(金)、5月1日(日)、5日(水)、6日(木)、7日(金)
5日(水)・6日(木) 観覧無料
料額 1,500〜又は1,000〜 演奏時間 約10分
※4月30日(土) 6時20分開演
場所 芸術館1Fロビー

【ワークショップ「ネリナギお目玉バッグをつくろう!」】
展期日 5月1日(日)、4日(水)〜6日(金) ※6日(金)は雨天
時間 9:30〜12:00
講師 園芸室講師
会場 芸術館200号棟
費用 1回 500円
土曜日の一部を平日と同等の観覧料とさせていただきます。

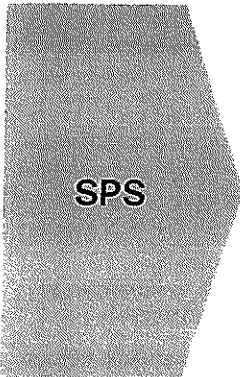
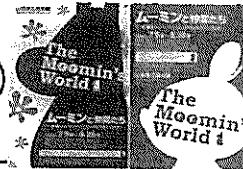
【芸術の森公園 アートツアー】※公園内の印刷物スタッフがご案内します。
展期日 4月29日(金)、5日(水)〜6日(金) ※6日(金)は雨天
料額 1回 500円
料額 1,100円 / 12:30〜 演劇時間 約40分
観覧 全席完結100名程度
※料金 500円
※5月4日(日) 以降の土日祝日も実施します。

リリース配信

山日新聞終面カラー広告

【1】 展示広報②

ムーミン展集客目標達成(実績 26,972名)
実行委員会と連携して活動を展開



- ・4種類のチラシ製作
- ・甲府駅等主要施設へのポスター・チラシ設置
- ・山梨交通バス約60台へのポスター掲示
- ・グッズ情報、イベントなどをタイムリーに発信
- ・新聞広告の連続掲載(計11回)
- ・各種情報サイトでの展覧会紹介(「夏びあ」等)
- ・抽選会実施(会期中2回)
- ・観覧者1万人、2万人達成セレモニー
- ・館内ワークショップ、七夕イベントとの連携

実行委員会
(県、テレビ山梨)

- ・CM放映(テレビ・系列ラジオ)
- ・番組内での会場および館内イベント紹介
- ・イベントでのインセンティブ提供

【2】 イベント②

芸術の森公園アートツアー

参加者実績	
21年度	155名
22年度	741名
23年度 見込	800名
(10月末現在 638名)	

- 本年も順調に推移
目標の800名は超える見込み
- 担当可能要員も3名に増員
ご要望に応じ団体予約への対応が可能な体制が構築できつつある

【3】観覧者増への取組 ～インターネット調査～

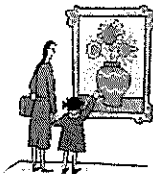
より多くのお客様に来て頂く為に、どのような施策を打つべきなのか？

首都圏における、「山梨県立美術館」の認知度や嗜好性を確認し、来館者拡大へむけた、効果的な広報活動を実施するための基礎資料とする。

知りたい事

① 山梨県立美術館の認知・接触は？

- ・山梨県立美術館の認知・経験は？
- ・ミレー美術館という認知度は？ 知ることで意識変化は？
- ・美術館以外の施設への興味・経験は？



② 旅行の実態・美術館全般のイメージは？

- ・旅先の決め方・情報収集の方法・媒体は？
- ・山梨旅行のイメージは？
- ・美術館全般に関する意識・イメージは？



WEB上で調査を実施

Copyright © 2010 INTAGE Inc. All Rights Reserved.

【3】観覧者増への取組 ～インターネット調査～

考察

	首都圏(県外)			県内
	来館者	認知 来館非経験者	非認知	山梨県民
ボリューム	15%	32%	53%	認知 ... 100% 未館経験 ... 30%
属性	美術館とヘビーが多い	男女60代が多い	女性30～40代が多い	-
山梨旅行目的	自然や景観を楽しむ・温泉(美術館・博物館4割獲得) 直近甲府訪問率:37.8%	自然や景観を楽しむ・温泉 直近甲府訪問率:16.4%	自然や景観を楽しむ直近 甲府訪問率:16.4%	-
情報源	ガイドブック・TV番組 家族・友人・知人の話	TV番組 (ガイドブックやHPが低い)	-	昔から知っている
イメージ	ゆったりと過ごせる 館内が清潔・きれい 周辺環境が良い 有名な作家の作品がある	周辺環境が良い	-	館内が清潔・きれい 立地の利便性
魅力点と満足点		ミレー館・全体の雰囲気		+無料駐車場 +芸術の森公園がある
ミレー美術館の認知	91.3%	53.3%	0%	91.5%
魅力(TOP3)	94.1%	88.2%	65.2%	80.3%
来館意向(TOP3)	84.0%	80.3%	55.4%	64.1%
今後のポテンシャル	経験者における意向が最も高く、満足度が高い	ミレーの美術館として、浸透は半数程度。未館経験が高い。	まずは、山梨県立美術館認知の拡大を	「作品」以外のイメージや満足度・意向が高い。リピート者の拡大を

【3】観覧者増への取組 ～インターネット調査～

調査概要

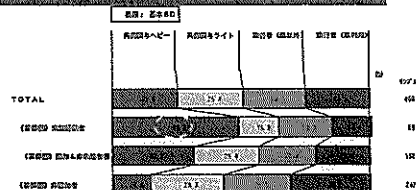
調査地域	首都圏(1都3府:東京・神奈川・千葉・埼玉)&山梨県																																		
調査手法	インターネットアンケート(SCR5問 本調査30問)																																		
対象者条件	男女30～60代(60%) ※ 未婚・エリアは母集団構成比に準ずる																																		
	①山梨県民																																		
	②文化・芸術に興味のある人 (興味度ヘビー:興味高&美術館頻度高/興味度ライト:興味中～高:美術館頻度低)																																		
	③3ヶ月に1回以上は、観光・ドライブ目的で出かける人(利用手段問わず/車利用)																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">男性</th> <th colspan="2">女性</th> </tr> <tr> <th>30～40代</th> <th>50～60代</th> <th>30～40代</th> <th>50～60代</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ヘビー</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>①ライト</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>②手段問わず</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>②車利用</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>③山梨県民</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>		男性		女性		30～40代	50～60代	30～40代	50～60代	①ヘビー	25	25	25	25	①ライト	25	25	25	25	②手段問わず	25	25	25	25	②車利用	25	25	25	25	③山梨県民	25	25	25	25
	男性		女性																																
	30～40代	50～60代	30～40代	50～60代																															
①ヘビー	25	25	25	25																															
①ライト	25	25	25	25																															
②手段問わず	25	25	25	25																															
②車利用	25	25	25	25																															
③山梨県民	25	25	25	25																															
業務範囲	企画～調査票作成～実査～集計～報告書作成																																		
調査期間	《SCR調査》 2011年2月18日(金)～21日(月)																																		
	《本調査》 2011年2月25日(金)～28日(月)																																		

【3】観覧者増への取組 ～インターネット調査～

今後の方向性

県外(首都圏) 山梨県立美術館及びミレーの美術館であることの認知を拡大!

- ・来館者では美術館の重視点として高い「作品」について、重視以上のイメージを獲得できている。また「ミレー館」の魅力・満足共に高く、来館者には満足度の高い美術館。
- ・しかし、認知＆非経験者はTV番組まで接触し認知はしているものの、「ミレーの美術館」認知は約半数。



- 「山梨県立美術館＝ミレーの美術館」としての認知を拡大。興味を喚起させつつ、HPやガイドブックといった自分で検索するステップにつなげることで来館までの確率がUP!
- 重視点として高い「入館料の手軽さ」を認知させることで、来館の拡大も期待できそう!!

県内 認知率は100% 県民の憩いの場として更なるリピートの拡大を!

- ・無料駐車場、芸術の森公園などの満足も高く、文学館の経験もある。(ただし、首都圏在住者では半数しか認知なし) 作品以外の要素を含め、憩いの場としても利用されている様子(※OAより)
- 美現在魅力・満足ともに平均以下の項目が多い(美術館全体としてもその傾向が強い)ため、魅力的な施策や、今実施している施策の満足度を高め独自性を高めることで、よりリピートの来館者拡大を狙えるか。

【4】運営 県民ギャラリーの貸出

～現状は稼働率約100%。ご利用頂けない団体も多数～

①入館者数管理表を改定

→各主催者様にも利用者増に取り組んで頂く試み

入館者数管理表		平成 22 年度		平成 21 年度	
月	日	入館者数	月	日	入館者数
11	24	95	11	24	95
11	27	111	11	27	111
11	28	230	11	28	230
11	29	227	11	29	227
11	30	232	11	30	232
12	1	27	12	1	27
計		1,213	計		1,213

入館者数管理表		平成 22 年度		平成 21 年度	
月	日	入館者数	月	日	入館者数
11	24	95	11	24	95
11	27	111	11	27	111
11	28	230	11	28	230
11	29	227	11	29	227
11	30	232	11	30	232
12	1	27	12	1	27
計		1,213	計		1,213

前年実績を併記
振り返りコメントを追加

4-9月比較で10年度実績(70,814名)→11年度72,714名に増加

②貸出受付方法の明確化(ギャラリーC)

利用希望団体の増加に伴い、明確な抽選方法を予め明示した上で、受付をすることとした。11月より運用開始

【5】サービス向上①

年間目標「監視のプロチーム(集団)になる」

活動方針

- ③笑顔 ⑦身だしなみ が継続できるチームになる!
- ⑧専門知識 を身につけお客様に説明できるチームになる!
- お客様、作品の ⑩安全 を確保できるチームになる!

【CSやまなし 活動推進】

毎月テーマを設定しミニ勉強会を実施(毎週水/土曜日)
～活動例～
*5月:「監視のプロ」の理想像をご指摘事例を元に考える
*6月:「文学館知識テスト」実施

【集合研修実施(5月・9月)】

本年の活動目標である「監視のプロになる」ための活動として、展示室内での対応事例を元にディスカッション&ロールプレイング等を実施



【5】サービス向上②

来館者アンケート結果

美術館(N=1,829人)

	施設設備の充実度			施設設備の整備状況		
	十分	不十分	その他	十分	不十分	その他
22年	86%	4%	10%	88%	3%	9%
21年	83%	7%	10%	85%	5%	10%

	サービスの内容			また来館したいと思うか		
	十分	不十分	その他	思う	思わない	その他
22年	82%	6%	12%	86%	4%	10%
21年	79%	9%	12%	84%	5%	11%

	全体の満足度		
	満足	不満足	普通
22年	72%	3%	25%
21年	72%	5%	24%

美術館:各項目共に前年度より向上

文学館(N=258人) ※文学館は22年度より実施

	施設設備の充実度			施設設備の整備状況		
	十分	不十分	その他	十分	不十分	その他
22年	84%	3%	13%	88%	2%	10%

	サービスの内容			また来館したいと思うか		
	十分	不十分	その他	思う	思わない	その他
22年	86%	2%	12%	85%	2%	13%

	全体の満足度		
	満足	不満足	普通
22年	83%	2%	35%

文学館:本年度より実施。

美術館とほぼ同様の傾向

※ご参考 節電への取組

電気事業法第27条による使用量制限への対応

契約電力(880kwh)の15%削減(最大電力748KWh)での運営体制を推進

【主要実施事項】

- 館内空調の設定変更
⇒共用部だけでなく、展示室、収蔵庫の温湿度設定も変更(学芸課と連携)
- 館内照明の減灯
- 講堂照明器具の照度設定変更
- 氷蓄熱設備の稼働時間変更(22:00～ ⇒ 18:00～)
- 空調用冷却水の取得方法変更
- 噴水の運転停止 など

⇒館内使用電力が700kwhを超えた場合、空調の輪番運転を実施して対応

電気(kwh)	22年	23年	前年比
7月	376,344	337,848	90%
8月	427,696	360,144	84%
9月	409,320	343,392	84%
計	1,213,360	1,041,384	86%

灯油(L)	22年	23年	前年比
7月	40,000	32,000	80%
8月	48,000	40,000	83%
9月	41,500	33,000	80%
計	129,500	105,000	81%

公共施設として夏場の節電活動へ意欲的に取り組み、使用量削減に取り組んだ